

公共下水道事業特別会計歳入歳出予算年度別内訳

(歳入)

(単位：千円)

科 目	平成16年度 決算	平成17年度 当初予算	平成18年度 当初予算
分担金及び負担金	216,325	183,385	162,771
使用料及び手数料	473,661	468,492	509,899
国庫支出金	612,950	396,900	613,300
繰入金	710,778	813,922	748,869
繰越金	393	1	1
諸収入	47,668	22,000	4,660
市 債	1,220,920	899,200	1,127,600
合 計	3,282,695	2,783,900	3,167,100

(歳出)

(単位：千円)

科 目	平成16年度 決算	平成17年度 当初予算	平成18年度 当初予算
下水道費	2,234,772	1,679,131	1,960,798
公債費	1,045,001	1,103,769	1,205,302
予備費	0	1,000	1,000
合 計	3,279,773	2,783,900	3,167,100

公共下水道事業特別会計状況調査書

I 事業概要

昭和56年度から公共下水道の整備に着手して以来、積極的に事業の推進に努め、平成17年度の普及率は約86%となる見込である。

今年度については、登別東町、登別港町、登別本町のうち約52haの整備を図り、年度末には整備面積約1,036ha、普及率は約87%を予定している。

若山浄化センターについては、汚水処理量の増加に対応するため、平成16年度から3ヵ年計画で処理能力を12,500m³/日から15,000m³/日にする第4期増設工事について引き続き実施する。

公共下水道による整備区域以外の区域として区分した個別排水処理区域については、住民の要望に基づき市が浄化槽を設置・維持管理する「個別排水処理施設整備事業」を平成16年度から実施しており、平成18年度についても引き続き実施する。

II 事業内容

1 下水道事業費	3,148,172	千円
(1) 投資的事業費	計	1,547,420 千円
①下水道管渠整備事業費	1,276,220	千円
・汚水管渠（補助）	694,000	千円
登別東町・登別港町・登別本町	φ150～800m/m	L=2,350m
・汚水管渠（単独）	344,220	千円
登別東町・登別港町・登別本町	φ150m/m	L=2,390m
・登別ポンプ場建設	238,000	千円
補助	236,000	千円
単独	2,000	千円
②終末処理場増設事業費	271,200	千円
補助 若山浄化センター増設工事（機械）	122,000	千円
若山浄化センター増設工事（電気）	134,000	千円
補助 若山浄化センター施設耐震診断委託	15,000	千円
単独	200	千円
(2) 経常経費	計	1,600,752 千円
一般管理費	164,045	千円
維持管理費	53,995	千円
浄化センター費	165,039	千円
排水設備促進費	12,271	千円
公債費償還経費	1,204,402	千円
予備費	1,000	千円
2 個別排水処理施設整備事業費	18,928	千円
(1) 投資的事業費 個別排水処理整備費	15,120	千円
(2) 経常経費 個別排水処理管理費	2,908	千円
公債費償還経費	900	千円
公共下水道事業費合計（1+2）		3,167,100 千円

個別排水処理施設整備事業

概 要

下水道整備が後年次となる上登別地区、登別温泉地区等及び下水道整備計画区域外の市内全域【個別排水処理区域】についての生活排水処理を合併処理浄化槽により実施する。

【個別排水処理区域】

カルルス町・上登別町・登別温泉町・札内町・富浦町・来馬町・鉾山町・川上町の全地域。

中登別町・登別東町・登別港町・新栄町・幸町・千歳町・常盤町・柏木町・片倉町・青葉町・緑町・若山町・富岸町・鷺別町・上鷺別町の一部の地域。

内 容

・事業手法	個別排水処理施設整備事業(総務省所管起債事業)
・対象家屋	専用住宅、店舗併用住宅、共同住宅、事務所
・設置方法	住民の要望により市が浄化槽を設置する
・管理方法	保守点検、法定検査、修理等については市が行う
・住民負担	浄化槽設置費の1割と、浄化槽稼働に伴う電気代 浄化槽使用料金(下水道使用料と同一計算)
・市負担	浄化槽設置費の9割と、維持管理費

平成18年度計画

設 置 費	@1,260千円×12基=15,120千円
維持管理費	@75.4千円×37基≒2,792千円
利子補給(融資あっせん)	100千円
その他(旅費・償還利子)	916千円
計	<u>18,928千円</u>